



ちくさ咲く みち



一人一人だれもが「ダイヤモンド」

校長 花生 典幸

校庭のまわりの木々のつぼみもだいぶふくらみ、春の訪れが間近なことを感じられるようになりました。

3月19日(火)、保護者や地域のみなさまからの温かい祝福を受けて59名の6年生が元気に学校を巣立っていきました。卒業式にご参加くださった方々の励ましに満ちたまなざしが、しっかりと子どもたちの胸に刻まれたように思います。ありがとうございました。

そして今日3月26日(金)、1年生から5年生まで239名の子どもたちは、修了証書を立派に受け取り、もうすぐ学年を一つずつ進めることとなります。この一年、子どもたちが元気に充実した日々を重ねてくることができたのも、ひとえに保護者・地域のみなさまの温かなご支援・ご協力のおかげによるものと、心から感謝を申し上げます。

さて、以前の全校集会の折に、わたしは子どもたちに「ダイヤモンド」のお話をしました。1年生の子どもたちがよく覚えていて、今でもクラスで時々話題にしてくれているようです。

—— ダイヤモンドという宝石をみなさん知っていますね(写真を見せる)。ダイヤモンドは最も高価で、一番輝いている宝石です。このダイヤが埋まっているところは、地球の地下深い場所(限られた場所にしか存在しないので希少性も高い)です。そこで、ダイヤモンドはものすごい圧力に押さえつけられ、とても小さくなって固まり、とてつもなく硬くなります。そのダイヤモンドが、地面の下から掘り出された時は、実はこんな姿をしています(原石の写真)。その辺に普通にある石に見えますよね。光ってもいません。ダイヤモンドは、この後、磨きに磨いて、磨き続けていくうちに、こんなふうに輝きを増していくのです。そしてなんと**ダイヤモンドを磨くことができるのは、実はダイヤモンドだけ**なのです(あまりに硬すぎて、金属の研磨機だとすぐにボロボロになってしまう)。……わたしは、みなさん一人一人もダイヤモンドだと思っています。あなたも、あなたも……ここにいる全員。**みなさん一人一人が、それぞれに素晴らしい力や素質を秘めたダイヤモンドの原石なのです**。でも原石は磨かないと光りません。だから、クラスにいる友だちどうし、原石どうしで、授業で意見をたくさん言い合ったり、困った時にはアイデアを出し合ったり、運動の技やレベルを競い合ったりしながら、**共に磨き合ってください。高め合ってください**。これから、もしかすればみなさんにもっとつらいことや大変なことが訪れるかもしれません。でもつらいことがあった時でも、簡単にくじけたりせず、「**自分はダイヤモンドなんだ。がんばれば輝けるんだ**」、そう信じて、**前を向いてがんばってください。ダイヤモンドの原石である自分を磨く努力を続けていってください**。

春休みの生活の指導は学校でも十分行いますが、子どもたちはやや解放された気分になりがちです。非行や交通事故等に気をつけるよう、励まし見守ってくださればありがたいです。

新学期には、希望に輝いて登校する子どもたちの姿が、またたくさん見られることを楽しみにしています。一年間ありがとうございました。

